



「出口が見えないナガイ歩道橋 (JR平和駅)」  
高田 真人さん (白石区) 撮影場所：柏山跨線人道橋

〈講評〉-----  
無機質な建造物と、行き交う温かな血の通う人間との組み合わせの妙を伝えるショット。縦線の続く天井が、見る者の目を奥へ奥へと誘います。窓を通してぼんやり見える風景も不思議さを助長しているようです。



「遠足」 林 洸さん (白石区)  
撮影場所：白石サイクリングロード (カラマツトンネル内)

〈講評〉-----  
ごくさりげないスナップですが、大胆に手前に黒を配したことが成功しています。子どもたちはリュックを背負って出掛けるころなのでしょう。写真的にいうなら、こちらに向かってくる子どもの姿が欲しいですね。



岸本 日出雄さん (写真家)

(株)日本広告写真家協会正会員  
日本写真芸術学会会員  
㈱札幌コマースフォト代表取締役  
広告、雑誌を中心に活動。被写体のターゲットはモデルや料理から、北海道の自然や野生動物まで多岐にわたる。ポスター、カレンダーなどを手掛けるほか、香港や台湾でも北海道の魅力を伝えるための写真展を開催。

### 第3回写真コンテスト総評

今回の応募作品には、自然の中で出合った風景、都会で見つけた小さな光景、身近なところで起きた情景などがあり、被写体はとても変化に富んでいました。なかなかユニークな視点のものも多く、白石区の新たな発見がたくさんありました。あいにく「白石区の写真」としての工夫をいまひとつ欠いていることから、入選に至らなかった作品もありましたが、特に子どもたちの明るい笑顔は魅力的で、気負わずシャッターを押していることが作品を通して伝わってきました。言うまでもなく「映像としての記録を残す」ことが写真の担っている役割の一つです。今回選出された作品を30年後の住人がどう感じるか、とても楽しみです。身の回りの小さなことにも目を向け、感動する柔軟な心を育て、ワクワクしながら人々が生活を営む白石の様子を切り取っていくことが大事です。これからも自由な感性で捉えた「白石区の今」を残して行ってほしいと願います。

しろいしな風景では白石区の魅力を発信しています。

**公開中!** 皆さんから応募いただいた全ての「しろいしな風景」を区役所ホームページで公開中。白石区写真ライブラリーでもご覧になれます。  
**HP** [www4.city.sapporo.jp/shiroishi/photolib/](http://www4.city.sapporo.jp/shiroishi/photolib/)

白石区写真ライブラリー▶



**募集中!** 区内で撮影した風景写真を随時募集しています。ご応募いただいた写真は、広報さっぽろ区民のページや区役所ホームページなどで紹介します。募集要項は、区総務企画課広聴係と区内各まちづくりセンターで配布しているほか、区役所ホームページに掲載しています。

※12月号のしろいしクイズの正解は「町内会」でした。

